

■手塚律蔵

蘭・英学者。蘭学から英学への転換の立役者。

てずかりつぞう

シボム来日・1823＝

周防国(山口県)熊毛郡で、医師手塚寿仙の次男に生まれる。母は瀬脇氏。

シボム事件・1828＝ 5歳：

鼠小僧磔・・1832＝ 9歳：

兄は父の前妻の子で25も年違いだったことから、全く合わず、

大塩平八郎乱1837＝14歳：

適塾オブン・1838＝15歳：\_家を飛び出し、長崎に遊学して蘭学修業、高島秋帆に呼び止められて教えを受けたり、

天保改革始・1841＝18歳：\_佐倉藩から長崎に留学派遣されてきた鑓木仙安・西淳庵と出会うなどした後、

天保改革弾圧1842＝19歳：\_長崎から江戸に出て、坪井信道に学び、大島高任らと同門となる。

阿部正弘首座1845＝22歳：\_再び長崎に出て、将軍の時計師上野俊之丞のもとに寄寓、大島高任もやって来る。

英学・物理・化学を修めて、

国定忠治磔・1850＝27歳：\_江戸へ戻る。鑓木仙安の紹介で、

尊徳報徳論・1851＝28歳：\_\*下総国佐倉藩主堀田正睦に仕え、西洋師範として江戸邸で蘭学を講じた。鑓木立木・那賀洞春が入門。

\_「海防火攻新覧」を翻訳して一気に有名になり、弟子が増えてきたため、正睦の助けを借りて、

ペリー来航・1853＝30歳：\_本郷元町に、蘭学塾又新堂を開く。佐倉藩からは、西村茂樹・津田仙らが入門。

開国開港・・1854＝31歳：\_ペリー来航に刺激された正睦の影響もあって、独学で英語を学び始める。

安政大地震・1855＝32歳：\_堀田正睦が老中首座となる。

松下村塾・・1856＝33歳：\_\*幕府蕃書調所が設置されて、教授手伝いに採用される。下田に来訪したアメリカ代表ハリスの将軍への挨拶文を翻訳して、英学の実力も認められる。弟子の西周が入手してきたイギリス文典とともに研究、

堀田正睦が老中罷免。

五ヶ国条約・1858＝34歳：\_又新堂から、イギリス文典を翻訳・出版。

安政の大獄・1859＝36歳：\_蕃書調所が蘭語に替えて英語を正課とし、西周とともに担当、

桜田門外変・1860＝37歳：\_かたわら\_長州藩邸内の洋学研究会を指導するなどの活動をしたため、

生麦事件・・1862＝39歳：\_尊攘派に襲撃され、佐倉に避難、

8月18日政変 1863＝40歳：\_教授手伝いも罷免となり、母方の姓をとって瀬脇良弼と名を改め、以後、隠遁的生活、

禁門の変・・1864＝41歳：\_堀田正睦が死去。

薩摩藩士密航1865＝42歳：\_佐倉藩校に新設された洋学所教授となり、

薩長同盟・・1866＝43歳：\_ついで藩の西洋学師範軍事取調所頭取に任じられるなどして、暮らすうち、

明治維新・・1868＝45歳：\_明治維新となり、

戊辰戦争終・1869＝46歳：\_藩政改革で洋学所が博文堂となり、その総務兼教授をつとめ、

廃藩置県・・1871＝48歳：\_\*博文堂が温故堂と合併後、外務省に出仕してその官舎に移り、表舞台に復帰、

学問のすすめ1872＝49歳：\_外務省洋語学所副督長となり、

明治6年政変 1873＝50歳：

初の民間工場1875＝52歳：\_ロシア調査のため、ウラジオストックへ赴き、

三つの内乱・1876＝53歳：\_浦塩露貿易事務官を設置、初代となって、再び現地に赴任したが、

西南戦争・・1877＝54歳：\_「鶏林事略」

大久保暗殺・1878＝55歳：\_\*病気で帰国の途次、イギリス貨物船中で没した。

訳書「彼理一日本紀行」「泰西史略」「格爾屯氏万国図誌」。